

2002年3月25日

(報道発表資料)

株式会社角川書店
日本電信電話株式会社

新しい演出技術でインタラクティブに楽しめる Webシネマの配信実験を開始

～高付加価値映像コンテンツの配信により光マーケットクリエーションを推進～

株式会社角川書店(以下角川書店、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:角川歴彦)と日本電信電話株式会社(以下NTT、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮津純一郎)は、従来のストリーミングコンテンツにはない新しいエンターテインメント性を持つコンテンツ制作・ブロードバンド配信の実現を目指し、視聴者が様々なインタラクティブ性を楽しめるブロードバンド専用シネマ(Webシネマ)の配信実験「V i ! C l i c k」を3月30日から約2ヶ月間行います。

共同配信実験で配信するWebシネマの内容は次の通りです。

タイトル：小池真理子原作 『命日』

出演：山口紗弥加、水川あさみ[第3回ミス東京ウォーカー]、他

内容：リアルホラー

時間：前編19分 後編21分

タイトル：五十嵐均原作 『セコい誘拐』

出演：益岡 徹、石橋蓮司、他

内容：シニカルコメディ

時間：32分

共同実験では、角川書店が制作した上記2本の短編シネマ中に、NTTサイバーソリューション研究所(以下NTT研究所)が開発したインタラクティブ利用技術を盛り込み、視聴者が興味を持つと思われるシーンや制作者側から仕掛けたいシーンで自動的に画面上に“マーク”を出現させます。それを視聴者がクリックすることで、登場人物の心理描写の画面が現れたり、隠されている映像が見えたり、画面内の小物をつかんでみたり、シネマ中の写真に応じた回想シーンが見えたりといったインタラクティブ性を楽しめる構成となっています。

このWebシネマの配信は、NTT東日本、NTT西日本の協力を得て、東京・大阪のBフレッツユーザまたは、フレッツADSLユーザを対象に行います。視聴を希望される方は、下記ホームページをご覧ください、お申し込みいただくこととなります。

共同実験告知のホームページ <http://www.vi-click.com>

○共同実験の目的

角川書店は実験に用いるコンテンツの制作、インタラクティブコンテンツ企画、プロモーションの企画・手配を行います。そして、インタラクティブ映像コンテンツの制作ノウハウを蓄積すると同時に、シネマ中に使用される小物や、出演者の衣装、配信するシネマに関連したキャラクターグッズ等の情報を視聴者に提供し、販売していくといったシネマを使ったコマースの新しいビジネスモデル構築の為の検証を行っていきます。

NTT研究所は、インタラクティブ性をもったコンテンツ制作を実現する技術群の提供、コンテンツ設計、配信、利用環境の構築を担当し、インタラクティブ技術の適用性評価、およびブロードバンド配信における配信センタ制御管理機能の検証を行います。

○共同実験の背景

角川書店は、デジタルコンテンツとブロードバンドネットワークの連携により、出版を核として付加価値の高いコンテンツを多様なメディアに最適な形で提供する‘メガ・コンテンツ・プロバイダー’^{*1}への飛躍を図っています。そして、ブロードバンド時代の映像コンテンツの付加価値として視聴者とのインタラクティブ性に着目し、自社のコンテンツ企画・制作ノウハウを、インタラクティブ技術と融合させ、新しい形のサービスやビジネスの創出を目指しています。

一方、NTT研究所は、さまざまな業界や企業と連携し、光ネットワーク上での新たな市場創造を目的として、これまでにない新需要を喚起する光マーケットクリエーション活動^{*2}を進めてきました。その一環として、光ブロードバンドの大きな特徴であるインタラクティブ性を実現する技術の開発を進めています。

○今後の予定

両社は、視聴者を対象としたアンケート、シネマを使ったコマースのクライアント候補者への視聴評価等により、どのような形態が最も視聴者に受け入れられたのか、ブロードバンド時代の広告モデル構築に今後役立っていくのか、制作コストに見合う収益を確保できていくのか、などの検討を行います。

○具体的なインタラクティブ技術群と視聴者の利用イメージ（[図参照](#)）

（1）ビジョンマーク

映像コンテンツ視聴中に、シーンにあらかじめ仕掛けられたインタラクティブサービスを、視聴者にシンボリックに表示する技術です。

（2）ダイナビデオ

視聴者が、映像中の被写体に対して指示をすることにより、関連する動画・静止画、テキスト、URLなどを表示できます。今回は、シネマ視聴中に現われるビジョンマークをクリックすると、興味ある登場人物の心理描写、隠されている映像をインタラクティブに視聴し楽しむことなどができます。

（3）サイバーコースター

画面でみたシーンの被写体を、あたかもつかんで動かしているような感覚で操作したり、関連詳細情報の表示などができます。今回は、画面内の小物などを自由につかんで動かしてみたり、登場人物をつかんで動作させるような楽しみができます。

（4）シンクブック

視聴者にとり、一般的で馴染みのある表示形式の“本型ビューア”により、映像の進行状況と連動したおまけ的な映像・画像を表示できます。今回は、シンクブックに主人公の思いでの写真を掲載し、それを、クリックすると写真に応じた回想シーン映像を見ることなどができます。

<用語解説>

*1 メガ・コンテンツ・プロバイダー

角川書店は、自社が有するストーリーコンテンツ（文芸・コミック・映画）と情報コンテンツ（タウン情報・生活情報など）を雑誌・書籍、映画、テレビ、インターネット等の多様なメディアを通して利用者にお届けすることを使命とします。ブロードバンド時代にますますコンテンツへの需要が高まることを背景に、ストーリーの映像化、情報データベースの構築、そしてそれらコンテンツの配信などを角川グループ内で行うべく、様々な試みを重ねており、今回のNTTとの実験もその流れに沿ったものです。

*2 光のマーケットクリエーション活動

NTTが、各業界パートナーと連携して、光ネットワークの持つ「高速・広帯

域」、「双方向」、「複合メディア融合」といった特長を活かした「光なら
では」の新しい情報流通サービス（光ソフトサービス）を世の中のお客様に
提供し評価して頂くことによって光の需要開拓を図り、新たな市場を創造し
ていく活動であり、平成12年11月に発表しました。

(<http://www.ntt.co.jp/news/news00/0011/001128.html>)

- ・ [図-1 インタラクティブシネマ動作イメージ](#)
- ・ [図-2 インタラクティブ技術群](#)
- ・ [図-3 Vi!Clickのシステム構成](#)

(本件問い合わせ先)

株式会社角川書店
経営管理部 石田
TEL: 03-3238-8401
e-mail : ishida@kadokawa.co.jp

日本電信電話株式会社
サイバーコミュニケーション総合研究所
広報担当 坂本・萩野
TEL:0468-59-2032
e-mail : ckoho@tamail.rdc.ntt.co.jp



[NTT NEWS RELEASE](#)